

- ◆安保法制=戦争準備法制「歯止め」の数が危険な法案の証 ただちに立法作業を止めよ
- ◆安倍政権の暴走を止めるのは 運動と世論 みんなの力を合わせましょう
- ◆若者結集! メーデー前夜祭

**安保法制=戦争準備法制**

**「歯止め」の数が危険な法案の証  
直ちに立法作業を止めよ**

政府・与党は、「戦争準備法案」の今国会での強行成立をねらっています。

報道では、国会審議が始まっていないのに、自民党・公明党の協議で、「大筋決着」などとされています。

「安保法制与党協議 相次ぐ歯止め、運用に懸念」(4/22産経)のように、メディアは「歯止め」が「焦点」のように報道しています。しかし、法案の危険な本質は「歯止め」では何も変わっていません。

「歯止め」が必要な危険な法案は、直ちに立法作業を止めるべきです。

私たちはアメリカの戦争に参戦する「集団的自衛権」に反対します。



日本医療労働組合連合会  
東京都台東区入谷1-7-5 TEL:03-3879-5871

ふたたび白衣を戦場の血で汚さない

まさに「戦争参加」  
法制化で何でも可能

- ① 集団的自衛権行使が可能に。
- ② 日本周辺に限らず、米軍や他国軍の後方支援が可能に。
- ③ 他国軍の後方支援のための自衛隊派遣が随時可能に。
- ④ 国連の枠組み外で治安維持や停戦監視、駆け付け警護が可能に。

★上は、日本医療労働組合連合会(日本医労連)が作成したチラシです。「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」は、日本医労連の運動の原点です。第二次世界大戦で、多くの医師や看護師が、負傷した兵士を再び戦場に送り出すために従軍させられました。(2015年5月「学習の友」より)

★教職員組合にも、「教え子を再び戦場に送らない」という、固い決意があります。多くの教え子を戦場に送った痛みや苦しみを、今の運動に確かに引き継いで力をあわせています。  
★みなさん! 戦争準備法制反対の運動に立ち上がりましょう。

5月29日(金)、学習会「STOP!戦争する国づくり-戦争準備法制は許さない-」を開催します。みなさん是非ご参加ください。(詳細はチラシ参照)

# 安倍政権の暴走を止めるのは運動と世論 みんなの力を合わせましょう



●みなさん！左のポスターは覚えていますか？自民党が大勝し、政権交代となった2012年衆議院選挙の自民党のポスターです。

ところが選挙後、自民党はTPP（環太平洋連携協定）交渉を積極的に推進。安倍首相は「政治的決断」が必要と、日米首脳会談での合意に強い意欲を示しています。

日本の食糧や経済の主権を脅かして、農業や地域経済に大打撃を与えるTPPの妥結は許してはなりません。

●みなさん！自民党が4月17日、NHKとテレビ「朝日」を「情報通信戦略調査会」による事情聴取をした報道はご覧になりましたか？

その後、調査会の川崎会長（自民党衆議院議員）は、政府に「停波」の権限があると脅しました。これまでも安倍政権と自民党は、取材拒否や選挙報道の「公平中立」を文書で要請するなど、言論・表現の自由、番組編集の自由を侵害してきました。

言論統制につながる、メディアへの介入は断じて許せません。

## 共同の力で大きな前進

### ブラック企業規制に新たな法律

次のような内容の法案が参議院の委員会で、全会一致で可決されました。◆ハローワークでは、ブラック企業の新卒求人拒否する。◆新卒者の求めに応じて、企業情報の開示を義務にする。

審議の中で、「新卒に限らず拒否すること」「離職率などの開示を義務化すること」を求めた日本共産党の修正案には、すべての野党が賛成したものの、採決では与党が反対し否決されました。

### 福井地裁 高浜原発再稼働を認めず

福井地裁は4月14日、関西電力高浜原発3、4号機を「運転してはならない」と、再稼働を認めない仮処分決定を行いました。

安倍政権は、新たな「安全神話」をつくり、原発再稼働や原発輸出に猛進しています。今回の判決は、そうした安倍政権の姿勢を批判し、「住民らが人格権を侵害される具体的危険性が認められる」としました。再稼働反対の声をさらに広げましょう。

## 若者結集！ メーデー前夜祭

長野県教育会館3階ホールにて開催しました。様々な団体や、組合のない職場からも多くの方に参加していただきました。70人弱の参加者と共に美味しい食事や飲み物、交流企画の「ジェスチャーゲーム」で、5月1日のメーデーに向けて、深く交流することができました。



メーデー前夜祭実行委員長 近藤拓也  
（長野労連青年部幹事・  
長野県教職員組合長水支部青年部長）